



レオ・ポール・ダナ教授 講演会

アントルプルヌールシップ（起業家活動）研究の世界的権威レオ・ポール・ダナ教授が、本年4月、関西大学・高槻ミューズ・キャンパスにある社会安全学部の招へい研究者として、滞在中です。講演会では、2011年2月2日ニュージーランドのカンタベリー地方で発生した地震で自宅、研究室、肉親を失われた被災経験について話されます。無料。申し込み不要。

レオ・ポール・ダナ (Leo Paul Dana) 1958年 カナダ ケベック州出身。

中小企業論、アントルプルヌールシップ論の権威として、カナダ、シンガポールの大学で活躍。ニュージーランドに移住し、カンタベリー大学教授として勤務していた2011年2月2日に地震に襲われ、自宅、研究室、そして最愛の肉親を失う。以来、フランスのモンペリエ・ビジネススクールとオランダのユニバーシティ・オブ・エアの客員教授を兼務。

Asian Model of Entrepreneurship などアントルプルヌールの国際比較に関する著書を発表し、*International Journal of Entrepreneurship and Small Business* などのジャーナルの編集責任者を務めておられます。

2014年4月16日(水) 9:00~10:30 関西大学 千里山キャンパス 第1学舎 E-401

「アントルプルヌールシップの研究者として、
ニュージーランド地震の被災者として」

アントルプルヌールシップ（起業家活動）論の研究者としてカナダ、シンガポール、ニュージーランド、フランス、オランダの大学で教育・研究に従事してきた体験と、2011年2月2日のニュージーランドのカンタベリー地方を襲った地震で、自宅、研究室、肉親を失われた被災体験についてお話されます。

通訳 亀井克之（関西大学 社会安全学部 教授）
*全学共通科目「学生生活とリスク」の講義を兼ねます。

2014年4月19日(土)13:30~ 関西大学 高槻ミュージックキャンパス ミューズ・ホール

司会 亀井克之（関西大学 社会安全学部 教授）
通訳 階戸照雄（日本大学大学院 総合社会情報研究科 教授）

第一講演 13:30~15:00

「ニュージーランド地震の被災者として、
アントルプルヌールシップの研究者として」

カナダ、シンガポール、ニュージーランド、フランス、オランダの大学で、アントルプルヌールシップ（起業家活動）論の研究者として国際的に活躍される中で、これまでどのようにリスクに対処されてきたのか、そして、ニュージーランドのカンタベリー地方を襲った2011年2月2日の地震で、自宅、研究室、肉親を失われた被災体験についてお話いただきます。

第二講演 15:15~16:15

「アントルプルヌールシップの国際比較について」

アジア15カ国など世界各地の起業家について、これまでの研究成果に基づいて話されます。